

1. 三八上男

扶 養 親 族 届

6 年 4 月 5 日提出

(任命権者) 〇〇教育事務所長 殿	勤務公署名			
	職		氏名	

条例第9条第1項の規定に基づき次のとおり届け出ます。

届出の理由 <input type="checkbox"/> 1 新たに職員となった(行政職9級以上職員等にあつては、扶養親族たる子がある場合に限る) <input type="checkbox"/> 2 行政職9級以上職員等から行政職9級以上職員等以外の職員となった(子以外の扶養親族がある場合に限る) <input type="checkbox"/> 3 新たに扶養親族たる要件を具備するに至った者がある(行政職9級以上職員等にあつては、子に限る) <input type="checkbox"/> 4 扶養親族たる要件を欠くに至った者がある(子、孫及び弟妹で満22歳の年度末を超えた者を除き、行政職9級以上職員等にあつては、子に限る)							
扶養親族の氏名	続 柄	生年月日	同居・別居の別 (別居の場合は住所)	所 得 の 年 額		届出事実の 発生日年月日	届出の事由
				所得の種類	金 額		
	子	H17.10.10					就職
記入上の注意 1 「続柄」欄には、職員との続柄を（重度心身障害者として届け出る場合は、その旨を併せて）記入する。 2 「同居・別居の別」欄で、別居の場合の住所は市区町村名まで記入する。 3 「所得の年額」欄には、給与所得、事業所得、不動産所得、年金所得等恒常的な所得がある場合に、これらの種類ごとにその年額（見込額）を記入する。 4 「届出の事由」欄には、届出の理由の3又は4に該当する場合にその事由（例えば婚姻、離婚、出生、死亡、就職、離職、満60歳以上等）をそれぞれ記入する。							

手当の終期 _____年____月(分まで支給)

2. 上北三男

扶 養 親 族 届

6 年 5 月 10 日提出

(任命権者) 〇〇教育事務所長 殿	勤務公署名			
	職		氏名	

条例第9条第1項の規定に基づき次のとおり届け出ます。

届出の理由 <input type="checkbox"/> 1 新たに職員となった(行政職9級以上職員等にあつては、扶養親族たる子がある場合に限る) <input type="checkbox"/> 2 行政職9級以上職員等から行政職9級以上職員等以外の職員となった(子以外の扶養親族がある場合に限る) <input type="checkbox"/> 3 新たに扶養親族たる要件を具備するに至った者がある(行政職9級以上職員等にあつては、子に限る) <input type="checkbox"/> 4 扶養親族たる要件を欠くに至った者がある(子、孫及び弟妹で満22歳の年度末を超えた者を除き、行政職9級以上職員等にあつては、子に限る)							
扶養親族の氏名	続 柄	生年月日	同居・別居の別 (別居の場合は住所)	所 得 の 年 額		届出事実の 発生日年月日	届出の事由
				所得の種類	金 額		
記入上の注意 1 「続柄」欄には、職員との続柄を（重度心身障害者として届け出る場合は、その旨を併せて）記入する。 2 「同居・別居の別」欄で、別居の場合の住所は市区町村名まで記入する。 3 「所得の年額」欄には、給与所得、事業所得、不動産所得、年金所得等恒常的な所得がある場合に、これらの種類ごとにその年額（見込額）を記入する。 4 「届出の事由」欄には、届出の理由の3又は4に該当する場合にその事由（例えば婚姻、離婚、出生、死亡、就職、離職、満60歳以上等）をそれぞれ記入する。							

手当の始期 _____年____月(分から支給)

1. 三八上男

扶養親族届

記入例1

6年6月19日提出

(任命権者) 〇〇教育事務所長 殿	勤務公署名	△△小学校			
	職	教諭	氏名	〇〇 〇〇	

条例第9条第1項の規定に基づき次のとおり届け出ます。

届出の理由 <input type="checkbox"/> 1 新たに職員となった(行政職9級以上職員等にあつては、扶養親族たる子がある場合に限る) <input type="checkbox"/> 2 行政職9級以上職員等から行政職9級以上職員等以外の職員となった(子以外の扶養親族がある場合に限る) <input type="checkbox"/> 3 新たに扶養親族たる要件を具備するに至った者がある(行政職9級以上職員等にあつては、子に限る) <input checked="" type="checkbox"/> 4 扶養親族たる要件を欠くに至った者がある(子、孫及び弟妹で満22歳の年度末を超えた者を除き、行政職9級以上職員等にあつては、子に限る)							
扶養親族の氏名	続柄	生年月日	同居・別居の別 (別居の場合は住所)	所得の年額		届出事実の 発生日年月日	届出の事由
				所得の種類	金額		
〇〇 △△	子	H12.4.8	同居	給与	2,240,000	R6.6.3	就職
所得の年額は、採用辞令の写し、就職証明及び給与支払(見込)証明又は雇用契約の写し等の書類で確認する 例) 月給 160, 000円 ボーナス(6月、12月に各1ヶ月分) のとき 160, 000×12ヶ月 + 160, 000×2ヶ月 = 2, 240, 000円							
記入上の注意 1 「続柄」欄には、職員との続柄を(重度心身障害者として届け出る場合は、その旨を併せて) 記入する。 2 「同居・別居の別」欄で、別居の場合の住所は市区町村名まで記入する。 3 「所得の年額」欄には、給与所得、事業所得、不動産所得、年金所得等恒常的な所得がある場合に、これらの種類ごとにその年額(見込額)を記入する。 4 「届出の事由」欄には、届出の理由の3又は4に該当する場合にその事由(例えば婚姻、離婚、出生、死亡、就職、離職、満60歳以上等)をそれぞれ記入する。							

参考 〈上記扶養親族を職員と共同して扶養している者がいることその他認定上参考になると思われる事項があれば記入する。〉

2. 上北三男

扶養親族届

記入例2

6年5月17日提出

(任命権者) 〇〇教育事務所長 殿	勤務公署名	□□小学校			
	職	教諭	氏名	◎◎ 〇〇	

条例第9条第1項の規定に基づき次のとおり届け出ます。

届出の理由 <input type="checkbox"/> 1 新たに職員となった(行政職9級以上職員等にあつては、扶養親族たる子がある場合に限る) <input type="checkbox"/> 2 行政職9級以上職員等から行政職9級以上職員等以外の職員となった(子以外の扶養親族がある場合に限る) <input checked="" type="checkbox"/> 3 新たに扶養親族たる要件を具備するに至った者がある(行政職9級以上職員等にあつては、子に限る) <input type="checkbox"/> 4 扶養親族たる要件を欠くに至った者がある(子、孫及び弟妹で満22歳の年度末を超えた者を除き、行政職9級以上職員等にあつては、子に限る)							
扶養親族の氏名	続柄	生年月日	同居・別居の別 (別居の場合は住所)	所得の年額		届出事実の 発生日年月日	届出の事由
				所得の種類	金額		
◎◎ △△	配偶者	S60.5.5	同居	給与	300,000	R6.5.9	R6.5.8 育児休業手当金支給終了
参考: 育児休業制度の改正に伴う扶養手当の認定について(平成14年4月26日付け青教職第114号) 1 育児休業開始時の認定 育児休業期間の開始日から向こう1年間の所得見込み額を算出し、扶養認定の可否を判断する。 2 育児休業手当金支給終了時の認定 1により扶養認定されなかった者について、育児休業手当金の支給が終了した日の翌日から向こう1年間の所得見込み額を算出し、新たに扶養認定の可否を判断する。							
記入上の注意 1 「続柄」欄には、職員との続柄を(重度心身障害者として届け出る場合は、その旨を併せて) 記入する。 2 「同居・別居の別」欄で、別居の場合の住所は市区町村名まで記入する。 3 「所得の年額」欄には、給与所得、事業所得、不動産所得、年金所得等恒常的な所得がある場合に、これらの種類ごとにその年額(見込額)を記入する。 4 「届出の事由」欄には、届出の理由の3又は4に該当する場合にその事由(例えば婚姻、離婚、出生、死亡、就職、離職、満60歳以上等)をそれぞれ記入する。							

参考 〈上記扶養親族を職員と共同して扶養している者がいることその他認定上参考になると思われる事項があれば記入する。〉

採用辞令

A

三八 長男 殿

令和 6 年 4 月 1 日付をもって、貴殿を
台仙エレキ工業株式会社の社員として採用します。

台仙エレキ工業株式会社
代表取締役社長 台仙 誠



雇用証明書

B

ふりがな	さんぱち たけお
氏名	三八 長男
生年月日	平成17年10月10日
住所	宮城県仙台市泉区4エレキハウス102
連絡先	090-XXXX-XXXX

【雇用情報】

雇用開始日	令和6年4月1日
雇用形態	正社員
勤務地	宮城県仙台市泉区2-2
勤務時間	7時間45分
休日	日曜・祝日・その他（会社カレンダーによる）
勤務内容	製造・検査
備考	

上記の者が当社の従業員であることを証明致します。

令和 6 年 4 月 1 日

事業所所在地：宮城県仙台市泉区2-2

事務所電話番号：022-XXX-XXXX

事業所名称：台仙エレキ工業株式会社

代表者氏名：台仙 誠

台仙

雇用契約書

C

フリガナ氏名	サンバチ 三八 簀男	生年月日	H17. 10. 10
現住所	〒981-3217 宮城県仙台市泉区4エレキハウス102 TEL 090-xxxx-xxxx		

以下の条件により雇用契約を締結する。

雇用期間	期間の定め 無 令和 6 年 4 月 1 日 ~ 令和 年 月 日 (ヶ月間)
就業場所	仙台工場 (宮城県仙台市泉区2-2)
業務の内容	製造・検査
就業時間	午前 8 時 3 0 分 ~ 午後 5 時 1 5 分
休憩時間	午後 0 時 3 0 分 ~ 午後 1 時 3 0 分までの60分間
所定時間外労働	1. 所定時間外労働：有 2. 休日労働：有
休日	日曜・祝日・その他 (会社カレンダーによる)
休暇	年次有給休暇・夏季休暇・冬期休暇 代替休暇 (有) その他特別休暇 (有)
賃金	基本給 178,000円 ①日給月給 (勤務状況等により月給制へ移行する場合がある) ②毎月20日締切、同月末日支払い (銀行振込) 昇級：年1回 賞与：年2回 (7月、12月) 2ヶ月分
交通費	当社規定による
加入保険	健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険
退職に関する事項	1. 定年制：有 (満60歳) 2. 自己都合退職 (退職する30日前に届け出ること) 3. 解雇 (解雇については、当社就業規則による)
その他	上記以外の事由については就業規則による

令和 6 年 4 月 1 日

雇用者 住所：宮城県仙台市泉区2-2
名前：台仙エレキ工業株式会社 代表取締役社長 台仙
被雇用者 住所：宮城県仙台市泉区4エレキハウス102
名前：三八 長男

式レ台
誠会キ印
社株エ

三八 印

D

人事異動通知書

(氏 名)

上北 八女

(現 職)

青森県八上市立八上小学校

教諭

(異動内容)

地方公務員の育児休業等に関する法律第2条第1項の規定により育児
休業を承認する

育児休業の期間 令和 5年 6月27日から

令和 7年 3月31日まで

令和 5年 6月 27 日

青森県教育委員会

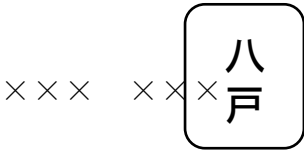
※これは八戸市の戸籍謄本をもとにした見本であり、市町村によって様式は異なります

全部事項証明書

本氏名	青森県八戸市尻内町上北3-2-1 上北 三男	E
戸籍事項 戸籍編製	【編製日】令和3年3月3日	
戸籍に記録されている者	【名】三男 【生年月日】平成3年10月3日【配偶者区分】夫 【父】・・・・・・・・・・ 【母】・・・・・・・・・・ 【続柄】長男	
身分事項 出生	【出生日】平成3年10月3日 【出生地】青森県八戸市 【届出日】平成3年10月7日 【届出人】父	
婚姻	【婚姻日】令和3年3月3日 【配偶者氏名】三八 八女 【従前戸籍】青森県八戸市尻内町上北3-2-1	
戸籍に記録されている者	【名】八女 【生年月日】平成3年8月8日【配偶者区分】妻 【父】・・・・・・・・・・ 【母】・・・・・・・・・・ 【続柄】長女	
身分事項 出生	【出生日】平成3年8月8日 【出生地】青森県八戸市 【届出日】平成3年8月12日 【届出人】父	
婚姻	【婚姻日】令和3年3月3日 【配偶者氏名】上北 三男 【従前戸籍】青森県八戸市尻外三八4-5-6	
戸籍に記録されている者	【名】みつや 【生年月日】令和5年5月1日 【父】上北 三男 【母】上北 八女 【続柄】長男	
身分事項 出生	【出生日】令和5年5月1日 【出生地】青森県八戸市 【届出日】令和5年5月12日 【届出人】父	

これは、戸籍に記録されている事項の全部を証明した書面である。
令和6年5月2日

青森県八戸市長



(様式1)

給与支払(見込)証明書



被雇用者	住 所	青森県八戸市尻内町上北3-2-1
	氏 名	上北 八女 (平成 3 年 8 月 8 日生)

雇 用 形 態	常勤
雇 用 開 始 年 月 日	平成 28 年 4 月 1 日
退 職 年 月 日	令和 年 月 日

給与支払(見込)額 ※通勤手当を含む

支払(見込)年月日	給与の額	賞与等の額	総支払額	摘要
令和5年 7月21日	0 円	0 円	0 円	
令和5年 8月21日	0 円	0 円	0 円	
令和5年 9月21日	0 円	0 円	0 円	
令和5年10月20日	0 円	0 円	0 円	
令和5年11月21日	0 円	0 円	0 円	
令和5年12月21日	0 円	0 円	0 円	
令和6年 1月19日	0 円	0 円	0 円	
令和6年 2月21日	0 円	0 円	0 円	
令和6年 3月21日	0 円	0 円	0 円	
令和6年 4月19日	0 円	0 円	0 円	
令和6年 5月21日	0 円	0 円	0 円	
令和6年 6月21日	0 円	0 円	0 円	
合 計	円	円	円	
健康保険加入状況	○ 有 ・ 無 「有」のとき(平成 28 年 4 月 1 日加入)			
備 考				

上記のとおり証明します。

令和 6 年 5 月 2 日

住 所 青森県八戸市尻内町鴨田7
証明者 氏 名 三八教育事務所

育児休業手当金（休業中支給分）明細書

G

学校名： 八上小学校

氏 名： 上北 八女

標準報酬日額＝標準報酬月額÷22（5円未満の端数は切り捨て 5円以上10円未満の端数は10円に切り上げ）					
給付日額＝標準報酬日額×67％（1円未満の端数切り捨て）※育児休業期間 ～180日目					
※令和6年7月までの給付日額上限（14,097円）、毎年8月に改正されます					
給付日額＝標準報酬日額×50％（1円未満の端数切り捨て）※育児休業期間 181日目～					
※令和6年7月までの給付日額上限（10,520円）、毎年8月に改正されます					
給付額＝給付日額×支給対象日数					
↓土・日を除いた日数					
区 分	標準報酬月額	標準報酬日額	給 付 日 額	支給対象日数	給 付 額
令和5年 6月分	320,000円	14,550円	9,748円	4日	38,992円
令和5年 7月分	320,000円	14,550円	9,748円	21日	204,708円
令和5年 8月分	320,000円	14,550円	9,748円	23日	224,204円
令和5年 9月分	320,000円	14,550円	9,748円	21日	204,708円
令和5年10月分	320,000円	14,550円	9,748円	22日	214,456円
令和5年11月分	320,000円	14,550円	9,748円	22日	214,456円
令和5年12月分	320,000円	14,550円	9,748円	16日	155,968円
令和5年12月分	320,000円	14,550円	7,275円	5日	36,375円
令和6年 1月分	320,000円	14,550円	7,275円	23日	167,325円
令和6年 2月分	320,000円	14,550円	7,275円	21日	152,775円
令和6年 3月分	320,000円	14,550円	7,275円	21日	152,775円
令和6年 4月分	320,000円	14,550円	7,275円	22日	160,050円
令和 年 月分	円	円	円	日	円
令和 年 月分	円	円	円	日	円
令和 年 月分	円	円	円	日	円
令和 年 月分	円	円	円	日	円
令和 年 月分	円	円	円	日	円
令和 年 月分	円	円	円	日	円
合 計				221日	1,926,792円
（ 変 更 後 合 計 ）				日	円

1. 三八上男

扶養親族届

6年4月5日提出

給与演習問題5 解答

勤務公署名三上小学校

職校長氏名三八上男

条例第9条第1項の規定に基づき次のとおり届け出ます。

届出の理由

☐1 新たに職員となった(行政職9級以上職員等にあつては、扶養親族たる子がある場合に限り)

☐2 行政職9級以上職員等から行政職9級以上職員等以外の職員となった(子以外の扶養親族がある場合に限り)

☐3 新たに扶養親族たる要件を具備するに至った者がある(行政職9級以上職員等にあつては、子に限り)

☒4 扶養親族たる要件を欠くに至った者がある(子、孫及び弟妹で満22歳の年度末を超えた者を除き、行政職9級以上職員等にあつては、子に限り)

子の就職により扶養をはずすため、4にチェック

別居のため子の住所を記入

扶養親族の氏名	続柄	生年月日	同居・別居の別 (別居の場合は住所)	所得の年額		届出事実の 発生日	届出の事由
				所得の種類	金額		
三八 長男	子	H17.10.10	宮城県仙台市泉区4 エレキハウス102	給与所得	2,848,000円	R6.4.1	就職
続柄は「子」でも「長男」でもよい				給与所得がある場合は「給与所得」と記入し、見込み金額も記入する		辞令等で確認	
						就職による認定の場合は「就職」と記入	

添付する書類

- ×

A 採用辞令

収入が130万円以上となるか分からない(記載がない)ため
- ×

B 雇用証明書

収入が130万円以上となるか分からない(記載がない)ため
- C 雇用契約書

「扶養手当の届出に係る添付書類について」
P2【扶養親族でなくする場合】の子3(1)に該当

手当の終期

R6年3月(分まで支給)

2. 上北三男

扶養親族届

6年5月10日提出

(任命権者)〇〇教育事務所長

勤務公署名北八小学校

職教諭氏名上北三男

条例第9条第1項の規定に基づき次のとおり届け出ます。

届出の理由

☐1 新たに職員となった(行政職9級以上職員等にあつては、扶養親族たる子がある場合に限り)

☐2 行政職9級以上職員等から行政職9級以上職員等以外の職員となった(子以外の扶養親族がある場合に限り)

☒3 新たに扶養親族たる要件を具備するに至った者がある(行政職9級以上職員等にあつては、子に限り)

☐4 扶養親族たる要件を欠くに至った者がある(子、孫及び弟妹で満22歳の年度末を超えた者を除き、行政職9級以上職員等にあつては、子に限り)

配偶者の所得減少により認定するため、3にチェック

扶養親族の氏名	続柄	生年月日	同居・別居の別 (別居の場合は住所)	所得の年額		届出事実の 発生日	届出の事由
				所得の種類	金額		
上北 八女	配偶者	H3.8.8	同居	給与所得	304,700円	R6.5.1	R6.4.30 育児休業 手当金支給終了
続柄は「配偶者」でも「妻」でもよい				向こう1年間の所得の見込み (R6.5.1~R7.4.30までの期間) R6.5.1~R7.3.31 育児休業 R7.4.1~ 復職 給料 304,700円		所得減少の理由を記入する	

添付する書類

- D 人事異動通知書

「扶養手当の届出に係る添付書類について」
P1【扶養親族とする場合】の 配偶者3(3)に該当
- E 戸籍謄本

「扶養手当の届出に係る添付書類について」
P1【扶養親族とする場合】の 配偶者3(1)に該当
- ×

F 給与支払(見込)証明書

扶養親族でなくする場合に使用、今回は不要
- ×

G 育児休業手当金(休業中支給分)明細書

配偶者が三八・上北管内県費負担教職員のときは不要

手当の始期

R6年5月(分から支給)